

工事成績評定の考え方

令和4年4月

鹿児島県 薩摩川内市

【基本方針】

- (1) 法令や仕様書の変更によって時代に合わなくなっている考査項目を整理して、義務化されたものを評価対象から外すとともに、任意の取り組みを新たな評価対象とする。
例えば、施工計画書を事前に提出することは当然ですから、評価対象から外しました。一方、受注者が任意に実践した取り組みを新たな評価対象に加えました。
- (2) 評定者の文言解釈によって評価が左右されることがないように、考査項目の文言を明確なものに換える。
例えば、「積極的である、顕著である、美観がよい」などの形容詞を排し、評定者が客観的なデータや事実の有無で判断できるように、表現を工夫しました。
- (3) 今後のメンテナンスコストを抑制するために、建設段階から長寿命化を推進する。特に鉄筋コンクリートの老朽化対策の取り組みを高く評価する。
コンクリート標準示方書に準拠した内容としました。さらに、受注者が任意に実践した、耐久性の向上に資する「現場の一手間、一工夫」を評価します。
- (4) 建設工事に従事する労働者の高齢化に合わせて、現場の安全対策を推進するために、これまで受注者が自主的に行ってきた取り組みを評価対象に加える。
例えば、労働安全衛生マネジメントシステムの導入、職長が中心となったKY活動などを評価対象に加えました。
また、受注者が自主的に行った熱中症防止対策を創意工夫の評価対象に加えました。
- (5) 働き方改革に合わせて、工程管理の評価対象を、これまでのスピード重視から、適正な進捗に見直す。
適正な進捗とは、標準的な工期内に完成させることであり、例えば、工程が遅れたとしても、その原因が受注者にはない場合は減点しません。逆に、災害復旧工事や標準工期より短くタイトな工程管理が要求される工事は積極的に加点します。
通常標準工期設定方法以外の場合は、鹿児島県ホームページ「建設工事における適正な工期設定に関する統計情報」に示しています。
- (6) 下請の適正化、社会保険加入、建退共の推進を考査項目に加える。
これまでは「法令違反の受注者に対して減点を行う」という消極方式でしたが、今後は「履行している受注者に対して加点する」という積極方式も併用します。
- (7) 本市特有の施工環境に配慮する。
例えば、工事の難易度に応じて加点される「工事特性」においては、「離島」を加点対象に加えました。

監督員 施工体制 施工体制一般

- ：施工体制一般については是正を要求すべき事項がなかった。
- ：監督員が是正を要求しなければならない程の重大なミスがなければ加点する。

- ：施工計画書の内容が現場条件を反映して十分（遺漏や不足がないことをいう）であった。
- ：○○が十分であるとは、遺漏や不足がないことを意味する。必須のものが揃っていれば加点する。以下の規定についても同じ。

- ：施工体制台帳及び施工体系図の記載内容、備置及び掲示方法が十分であった。
- ：施工体制台帳の調製と施工体制体系図の作成は義務であるから、評価対象はその備置と掲示の状況とする。

- ：~~社外の~~品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る体制が有効に機能していた。
- ：~~"社外による社内、社外問わず共通仕様書で示す品質証明員の資格及びその履行内容が適正な場合にチェック体制を設けている任意の取組みを~~評価する。社外の品質証明員とは、共通仕様書に定める品質証明員の資格を有し、かつ、次の各号のいずれにも該当しない者をいう。
 - 一 受注者（その親会社等、子会社等及び親会社等の子会社等を含む）から、品質証明業務に係る報酬以外の報酬を受ける者
 - 二 前号に規定する者の配偶者又は二親等内の親族である者"

【共通仕様書（品質証明）】

- (4) 品質証明員の資格は 10 年以上の現場経験を有し、技術士もしくは 1 級土木施工管理技士の資格を有するものとする。ただし、監督職員の承諾を得た場合はこの限りでない。

※資格が証明できる資料は、提示とする。

【親会社等、子会社等とは？】

親会社等とは、会社法第二条四号の二で規定するものをいいます。

子会社等とは、会社法第二条三号の二で規定するものをいいます。

親会社等の子会社等とは、親会社等を同じくする、いわゆる兄弟会社をいいます。

会社法第二条 この法律において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

三 子会社 会社とその総株主の議決権の過半数を有する株式会社その他の当該会社とその経営を支配している法人として法務省令で定めるものをいう。

三の二 子会社等 次のいずれかに該当する者をいう。

イ 子会社

ロ 会社以外の者がその経営を支配している法人として法務省令で定めるもの

四 親会社 株式会社を子会社とする会社その他の当該株式会社の経営を支配している法人として法務省令で定めるものをいう。

四の二 親会社等 次のいずれかに該当する者をいう。

イ 親会社

ロ 株式会社の経営を支配している者（法人であるものを除く。）として法務省令で定めるもの

※確認方法は聴き取りによる。

回答が虚偽であることが判明した場合は、完成後5年を経過しない工事に対して減点補正を行う。

【受注者から受ける報酬とは？】

ここでいう報酬とは、賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働の対償として受ける全てのものをいう。

※確認方法は聴き取りによる。

回答が虚偽であることが判明した場合は、完成後5年を経過しない工事に対して減点補正を行う。

○：下請契約が適正であり、当該工事に関して「鹿児島県建設業法ホットライン」への通報又は「元請下請関係に関する相談窓口」への相談がなかった。

●：当該工事について通報又は相談があった場合は加点しない。通報又は相談の有無は受注者への聴き取りで確認する。

○：受注者がある下請人の社会保険（健康保険、年金保険及び雇用保険）の加入状況を確認しており、作業員名簿に社会保険欄が空欄の者がいない。

●：二次以降の下請についてもチェックする。保険番号又は「非該当」の記載がない場合は加点しない。

- ：緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。
 - ：本項は「発生した場合」の、事後対応（被害の拡大防止など）の良否を評価する。
-
- ：現場に対する本店や支店による支援体制が、ISO9001（品質マネジメントシステム）で認証されている。
 - ：認証の有無は聴き取りで確認する。

監督員 施工体制 配置技術者

- ：配置技術者について是正を要求すべき事項がなかった。
- ：監督員が是正を要求しなければならない程の重大なミスがなければ加点する。

- ：下請が行った施工管理について、受注者がその内容をチェックしていたことが確認できる。
- ：施工管理のまる投げが疑われる場合は加点しない。

- ：監理（主任）技術者が、法令、仕様書その他の基準を把握した上で、指導を行っている。
- ：下請監理のまる投げが疑われる場合は加点しない。

監督員 施工状況 施工管理

○：施工管理について是正を要求すべき事項がなかった。

●：監督員が是正を要求しなければならない程の重大なミスがなければ加点する。

○：できる範囲で、工事打合簿を電子化している。

●：「できる範囲で」とは、電子化することに過大な負担が発生しないことをいう。最終の電子納品レベルに関係なく、書類の減量と業務の迅速化の取組みを評価する
(2019/3/28 追加)。

○：現場環境改善（イメージアップ）を行った。

●：積極的かどうかは問わない。

監督員 施工状況 工程管理

- ：工程管理について是正を要求すべき事項がなかった。
- ：監督員が是正を要求しなければならない程の重大なミスがなければ加点する。

- ：受注者に直接の原因のない理由により、工程が遅れる制約が生じた場合において遅延を回避するために工程の変更を行った。
- ：遅延を回避する取り組みを行った場合は加点する。
結果は問わない。「受注者に直接の原因がない」とは発注者に原因があるケースと受発注者双方に原因がないケースである。以下同じ。

- ：発注者からの要請に基づいて工程の短縮を行った。
- ：契約約款に基づいて発注者から工期短縮の要請があった場合は加点する。

- ：受注者に直接の原因のある工期の遅れがなかった。
- ：受注者に直接の原因がない場合（つまり発注者に原因がある場合と双方に原因がない場合）は、遅れが生じても加点する。逆に受注者に原因がある場合は加点しない。

監督員 施工状況 安全対策

- ：安全対策について是正を要求すべき事項がなかった。
- ：監督員が是正を要求しなければならない程の重大なミスがなければ加点する。

- ：災害防止協議会（受注者が主催して、工程や事故防止対策について協議する会合を、混在作業が発生する日から4週間に1回以上実施している。
- ：開催間隔は「月」単位ではなく4週間とする。
着工月又は完成月の半端な期間に無理に実施する必要はない。

- ：安全教育及び安全訓練等を、工事着工日から4週間に1回以上実施した。
- ：安全教育及び安全訓練の内容は多様なので1回あたりの開催時間は問わない。

- ：工事期間を通じて、工事事務（工事関係者事故及び公衆損害事故）に関する法令遵守等の減点がなかった。
- ：事故が発生しても、事故が軽微で、安全管理に不備がないと判断されて減点がなければ加点対象となる。

- ：過積載を行っていない、過積載を繰り返している業者から資材等を購入していない、かつ積載装置に不正改造をした車両が現場に出入りしていなかった。
- ：過積載を繰り返している業者とは、貨物自動車運送事業法第64条の措置（過積載に対する協力要請書又は警告書）を受けた荷主及び過積載に関して運輸局のホームページで公表された貨物自動車運送事業者を目安とする（2019/3/8 追加）。
確認方法は聴き取りによる。
回答が虚偽であることが判明した場合は、完成後5年を経過しない工事に対して減点補正を行う。

【過積載を繰り返している業者の見分け方は？】

国土交通省は、過積載の依頼を繰り返している荷主に対して「協力要請書」を渡しています。さらに過去3年間に2回「協力要請書」を渡した荷主には「警告書」を渡しています。

過積載を繰り返している業者かどうかは、「協力要請書」又は「警告書」の有無で判断できます。

また、悪質な過積載を行った運輸事業者に対しては、九州運輸局が企業名を公表しています。

- ：作業限界条件（気象海象に応じて作業を中止する基準）を事前に設定して、作業員に周知していた。
- ：実際に工事を中止したかどうかは問わない。

- ：自然災害に対する事前の防災対策が十分で、受注者に直接の原因がある第三者被害が発生しなかった。
- ：本項は、災害の発生が予想される場合の、事前の対策（資材の飛散防止や大型土のうによる仮防護等）を評価する。対策を講じたが第三者被害があったときに、その直接の原因が受注者にはない場合は加点する。

監督員 施工状況 対外関係

- ：対外関係について是正を要求すべき事項がなかった。
- ：監督員が是正を要求しなければならない程の重大なミスがなければ加点する。

- ：第三者からの苦情（工事の施工方法に関するものに限る）がなかった。あった場合は十分な対応を尽くした。
- ：対応が十分であったかどうかは、社会通念で判断する。

監督員 出来形及び出来ばえ 出来形 土木一般

- ：評価対象項目 …出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。
- ：出来形管理項目（「土木工事施工管理基準」または別途定めのあるもの）を設定していない工事は「c」評価とする。

監督員 出来形及び出来ばえ 出来形 機械設備工事

- ：承諾図等が、設計図書を満足している。
- ：提出時期、内容の漏れ、設計図書との仕様違いなどが無いこと。

- ：施工図等が、設計図書を満足している。
- ：設計図書（特記仕様書含む）の諸基準を満足する施工図が作成されていること。

- ：衛生工事について、出来形が設計図面を満足し、十分な施工である。
- ：出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。（以下同じ）

監督員 出来形及び出来ばえ 出来形

電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事

- ：承諾図等が、設計図書を満足している。
- ：提出時期、内容の漏れ、設計図書との仕様違いなどが無いこと。

- ：施工図等が、設計図書を満足している。
- ：設計図書（特記仕様書含む）の諸基準を満足する施工図が作成されていること。

- ：現場における出来形（形状及び寸法、数量）が設計図書を満足し、十分な施工である。
- ：出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。（以下同じ）

監督員 出来形及び出来ばえ 出来形 建築工事

○：承諾図等が、設計図書を満足している。

●：提出時期、内容の漏れ、設計図書との仕様違いなどがないこと。

○：施工図等が、設計図書を満足している。

●：施工計画書、施工図、総合図等が設計図書の諸基準を満足することが確認できること。

監督員 出来形及び出来ばえ 品質 機械設備工事

- ：機材の品質が、承諾函等により確認でき、設計図書を満足している。
 - ：品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」であり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより評価を行う。
-
- ：衛生工事について、システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。
 - ：機器の連動、警報の発報等について総合的に自主検査を行い、記録が整備されていること。
-
- ：空調工事について、システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。
 - ：機器の連動、警報の発報等について総合的に自主検査を行い、記録が整備されていること。

監督員 出来形及び出来ばえ 品質

電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事

- ：機材の品質が、承諾函等により確認でき、設計図書を満足している。
 - ：品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」であり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより評価を行う。
-
- ：システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。
 - ：機器の連動、警報の発報等について総合的に自主検査を行い、記録が整備されていること。

総括監督員 施工状況 工程管理

- ：特定建設作業（騒音規制法及び振動規制法が定める一定規模以上の作業）を休日や夜間に行わなかった。または休日や夜間に行う特定建設作業の期間が最小となるように工程を調整した。
- ：特定建設作業に該当しないように低騒音・低振動の機械を使用したこと、休日や夜間を避けるように工程調整を行ったこと、休日や夜間に作業したとしても、その期間を最小に抑えたことを評価する。

- ：災害復旧工事のほか、標準的な工期より短い工期が設定された工事を予定通り完成させた。
- ：災害復旧工事は該当する。（そのまま評価）
災害復旧工事以外でも、タイトな工程管理が求められる工事は対象となる。

標準的な工期とは、通常の工期設定方法又は下記の統計から推計された工事日数をいう。

鹿児島県ホーム > 社会基盤 > 公共事業 > 技術管理・検査 > 土木部工事監査 > 建設工事における適正な工期設定に関する統計情報

総括監督員 工事特性 施工条件等

○：厳しい海象条件の下で行う工事

●：泊地や航路に限らない。

○：離島のほか、資機材の全部又は一部を海上運搬する必要があり、稼働率に制約を受ける工事

●：全ての離島が該当する。内地でも海上運搬が必要な工事は該当する。

○：土石流の発生が予想される溪流内で施工する工事

●：土石流危険溪流指定区域に限らない。

○：工期が12ヶ月を超える工事において、工事事故（工事関係者事故及び公衆損害事故）に関する法令遵守等の減点がなかった工事

●：事故が発生しても、事故が軽微で、安全管理に不備がないと判断されて減点がなければ加点対象となる。

総括監督員 社会性等 地域への貢献等

- ：工事現場周辺（現場と同じ大字（市内の場合は町）の範囲をいう。以下同じ。）の共有用地や共有施設（学校、バス停を含む）の整備や修繕等を行った。
- ：1回でよい。

- ：工事現場周辺で一般向けの憩いのサービスを提供した（トイレの開放、観光案内、木陰のベンチほか）。
- ：負担の少ないものでもよい。

- ：当該工事に関する広報（SNSによる電子版を含む）を行った。
- ：スマホ版でもよい。自社のPRを兼ねてよい。

- ：工事現場周辺で、除草又は清掃等の美化作業を行った。
- ：道路に限らない。1回でよい。

- ：工事現場周辺の地域の行事に参加若しくは協賛し、又は準備の支援をした。
- ：小規模の行事でよい。手伝いでもよい。1回でよい。

- ：工事現場周辺の地域がかかえる課題に対して協力活動を行った。災害救援活動（降灰、積雪を含む）、環境保全活動（生態系保全のための外来動植物の駆除を含む）、集落支援活動その他。
- ：活動はハード（機材）、ソフト（人的）を問わない。1回でよい。

※工事現場周辺とは、現場と同じ大字（市内の場合は町）の範囲をいいます。
例えば、工事場所を示す「・・町〇〇地内」の〇〇を原則とします

総括監督員 法令遵守等

- ：工事関係者事故又は公衆損害事故が発生したが、口頭注意以上の処分が行われなかった場合
- ：「工事事故に関する評定基準」（H29.1.1）が定める減点による。

検査員 施工状況 施工管理

- ：施工体制台帳及び施工体系図の記載内容、備置及び掲示方法が十分であった。
- ：施工体制台帳の調製と施工体制体系図の作成は義務となっているので、評価対象はその備置と掲示の状況とする。

○：~~社外の品質証明員が証明する内容が適正であった。~~

品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般に渡っていることが、確認できる。

●：~~"社外による社内、社外問わず共通仕様書で示す品質証明員の資格及びその履行内容が適正な場合にチェック体制を設けている任意の取組みを評価する。社外の品質証明員とは、共通仕様書に定める品質証明員の資格を有し、かつ、次の各号のいずれにも該当しない者をいう。~~

- 一 受注者（その親会社等、子会社等及び親会社等の子会社等を含む）から、品質証明業務に係る報酬以外の報酬を受ける者
- 二 前号に規定する者の配偶者又は二親等内の親族である者"

【共通仕様書（品質証明）】

(4) 品質証明員の資格は 10 年以上の現場経験を有し、技術士もしくは 1 級土木施工管理技士の資格を有するものとする。ただし、監督職員の承諾を得た場合はこの限りでない。

※資格が証明できる資料は、提示とする。

【親会社等、子会社等とは？】

親会社等とは、会社法第二条四号の二で規定するものをいいます。

子会社等とは、会社法第二条三号の二で規定するものをいいます。

親会社等の子会社等とは、親会社等を同じくする、いわゆる兄弟会社をいいます。

会社法第二条 この法律において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

三 子会社 会社はその総株主の議決権の過半数を有する株式会社その他の当該会社はその経営を支配している法人として法務省令で定めるものをいう。

三の二 子会社等 次のいずれかに該当する者をいう。

イ 子会社

ロ 会社以外の者がその経営を支配している法人として法務省令で定めるもの
四 親会社 株式会社を子会社とする会社その他の当該株式会社の経営を支配している法人として法務省令で定めるものをいう。

四の二 親会社等 次のいずれかに該当する者をいう。

イ 親会社

ロ 株式会社の経営を支配している者（法人であるものを除く。）として法務省令で定めるもの

※確認方法は聴き取りによる。

回答が虚偽であることが判明した場合は、完成後5年を経過しない工事に対して減点補正を行う。

【受注者から受ける報酬とは？】

ここでいう報酬とは、賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働の対償として受ける全てのものをいう。

※確認方法は聴き取りによる。

回答が虚偽であることが判明した場合は、完成後5年を経過しない工事に対して減点補正を行う。

○：できる範囲で、工事関係書類を電子化している。

●：「できる範囲で」とは、電子化することに過大な負担が発生しないことをいう。本項の工事関係書類とは、工事打合簿以外の書類であって、現実的に電子化できるものをいう。最終の電子納品レベルに関係なく、書類の減量と業務の迅速化の取組みを評価する（2019/3/28 追加）。

検査員 出来形及び出来ばえ 出来形 土木一般

- ：不可視部分の全部の写真及び主要な部分の出来形の記録が保存されている。
- ：不可視部分は全域を撮影しなければならない。動画でもよい。

検査員 出来形及び出来ばえ 出来形 機械設備工事

- ：承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。
 - ：提出時期、内容の漏れ、設計図書との仕様違いなどが無いこと。
-
- ：施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。
 - ：設計図書（特記仕様書含む）の諸基準を満足する施工図が作成されていること。
-
- ：施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。
 - ：出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。
（以下同じ）

検査員 3 出来形及び出来ばえ I 出来形電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事

- ：承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。
 - ：提出時期、内容の漏れ、設計図書との仕様違いなどが無いこと。
-
- ：施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。
 - ：設計図書（特記仕様書含む）の諸基準を満足する施工図が作成されていること。
-
- ：施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。
 - ：出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。（以下同じ）

検査員 出来形及び出来ばえ 出来形 建築工事

○：承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。

●：提出時期、内容の漏れ、設計図書との仕様違いなどがないこと。

○：施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。

●：施工計画書、施工図、総合図等が設計図書の諸基準を満足することが確認できること。

検査員 出来形及び出来ばえ 品質

コンクリート構造物工事

- ：コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：配合計画書で確認する。加点となる具体例は次のとおり（2019/3/18 追加）。
 - (1) 複数の生コン工場の標準偏差 σ （2～3N）を比較して、 σ の少ない工場を選択した。
 - (2) 複数の生コン工場の配合を比較して、単位水量が少ない工場を選択した。
 - (3) 試験練りを実施して配合を決定した。
- ：レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。
- ：レディーミクストコンクリートの受入れ検査は受注者の責任である。監督職員はその結果をもって品質を確認する。
- ：レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
- ：特注品とは標準配合以外のレディーミクストコンクリートを指す。収縮や発熱を抑える目的で、セメントの種類を替えたり、高性能の混和剤（JISA6204で規定する高性能AE減水剤など2019/3/8追加）を添加したものをいう。なお、標準配合を使うか特注品を使うかは受注者の任意施工の範囲である。

JIS A 6204 表3-化学混和剤の性能

項目	AE 剤	高性能減水剤	硬化促進剤	減水剤			AE 減水剤			高性能 AE 減水剤		流動化剤		
				標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	標準形	遅延形	
減水率 %	6 以上	12 以上	—	4 以上	4 以上	4 以上	10 以上	10 以上	8 以上	18 以上	18 以上	—	—	
ブリーディング量の比 %	—	—	—	—	100 以下	—	70 以下	70 以下	70 以下	60 以下	70 以下	—	—	
ブリーディング量の差 cm^3/cm^2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.10 以下	0.20 以下	
凝結時間の差 分	始発	-60～+60	+90 以下	—	-60～+90	+60～+210	+30 以下	-60～+90	+60～+210	+30 以下	-60～+90	+60～+210	-60～+90	+60～+210
	終結	-60～+60	+90 以下	—	-60～+90	0～+210	0 以下	-60～+90	0～+210	0 以下	-60～+90	0～+210	-60～+90	0～+210
圧縮強度比 %	材齢 1 日	—	—	120 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	材齢 2 日 (5℃)	—	—	130 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	材齢 7 日	95 以上	115 以上	—	110 以上	110 以上	115 以上	110 以上	110 以上	115 以上	115 以上	90 以上	90 以上	
	材齢 28 日	90 以上	110 以上	90 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	115 以上	115 以上	90 以上	90 以上	
長さ変化比 %	120 以下	110 以下	130 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	110 以下	110 以下	120 以下	120 以下	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	—	—	—	—	—	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	
経時変化量	スランプ cm	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0 以下	6.0 以下	4.0 以下	4.0 以下	
	空気量 %	—	—	—	—	—	—	—	—	±1.5 以内	±1.5 以内	±1.0 以内	±1.0 以内	

- ：施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。
 - ：構造上の制約で落下高が高くなる場合は、漏斗管を使用したり、臨時の打設孔を設けなければならない。
-
- ：ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。
 - ：コンクリートの表面乾燥を防止し、水和反応が十分に進むまで養生したことを評価する。
-
- ：打ち継ぎ面では、レイタンス、品質の悪いコンクリート、緩んだ骨材粒を取り除き、表面を粗にし、十分に吸水させた。そしてこれを示す記録が残っている。
 - ：この作業を打継処理剤で代替することはできない。
-
- ：断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、先行打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。
 - ：本項目の記録とは、打設作業の時刻が写し込まれた写真などが該当する（2019/3/8追加）。
-
- ：コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。
 - ：土木工事現場監督要領（H16.3.31）により、PCポストテンション橋の場合は、有害物が付着していないことを監督職員が立ち合って確認しなければならない。その他の構造物については同要領の定めによる。
-
- ：ひび割れ防止及び耐久性向上のために、コンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。
 - ：特別の養生とは、膜養生、ラップ養生、断熱性の高い型枠の使用など。

検査員 出来形及び出来ばえ 品質

土工事（切土、盛土、築堤等工事）

- ：法面にゆがみや水平方向の亀裂がみられない。
- ：滑動の兆候がないこと。

検査員 出来形及び出来ばえ 品質 舗装工事

- ：【コンクリート舗装工関係】コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：配合計画書で確認する。加点となる具体例は次のとおり（2019/3/18 追加）。
 - (1) 複数の生コン工場の標準偏差 σ （2～3N）を比較して、 σ の少ない工場を選択した。
 - (2) 複数の生コン工場の配合を比較して、単位水量が少ない工場を選択した。
 - (3) 試験練りを実施して配合を決定した。

- ：レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。
- ：レディーミクストコンクリートの受入れ検査は受注者の責任である。監督職員はその結果をもって品質を確認する。

- ：レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
- ：特注品とは標準配合以外のレディーミクストコンクリートを指す。収縮や発熱を抑える目的で、セメントの種類を替えたり、高性能の混和剤（JISA6204で規定する高性能AE減水剤など2019/3/8追加）を添加したものをいう。なお、標準配合を使うか特注品を使うかは受注者の任意施工の範囲である。

JIS A 6204 表 3-化学混和剤の性能

項目	AE 剤	高性能 減水剤	硬化 促進剤	減水剤			AE 減水剤			高性能 AE 減水剤		流動化剤		
				標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	標準形	遅延形	
減水率	%	6 以上	12 以上	—	4 以上	4 以上	4 以上	10 以上	10 以上	8 以上	18 以上	18 以上	—	—
ブリーディング量の比	%	—	—	—	—	100 以下	—	70 以下	70 以下	70 以下	60 以下	70 以下	—	—
ブリーディング量の差	cm ³ /cm ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.10 以下	0.20 以下
凝結時間の 差 分	始発	-60~ +60	+90 以下	—	-60~ +90	+60~ +210	+30 以下	-60~ +90	+60~ +210	+30 以下	-60~ +90	+60~ +210	-60~ +90	+60~ +210
	終結	-60~ +60	+90 以下	—	-60~ +90	0~ +210	0 以下	-60~ +90	0~ +210	0 以下	-60~ +90	0~ +210	-60~ +90	0~ +210
圧縮強度比 %	材齢 1 日	—	—	120 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	材齢 2 日 (5℃)	—	—	130 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	材齢 7 日	95 以上	115 以上	—	110 以上	110 以上	115 以上	110 以上	110 以上	115 以上	125 以上	125 以上	90 以上	90 以上
	材齢 28 日	90 以上	110 以上	90 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	115 以上	115 以上	90 以上	90 以上
長さ変化比	%	120 以下	110 以下	130 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	110 以下	110 以下	120 以下	120 以下
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	—	—	—	—	—	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上
経時変化量	スランプ cm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0 以下	6.0 以下	4.0 以下	4.0 以下
	空気量 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	±1.5 以内	±1.5 以内	±1.0 以内	±1.0 以内

- ：施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が 1m 以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：構造上の制約で落下高が高くなる場合は、漏斗管を使用したり、臨時の打設孔を設けなければならない。

検査員 出来形及び出来ばえ 品質 法面工事

- ：レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
特注品とは標準配合以外のレディーミクストコンクリートを指す。収縮や発熱を抑える目的で、セメントの種類を替えたり、高性能の混和剤 (JIS A 6204 で規定する高性能 AE 減水剤など 2019/3/8 追加) を添加したものをいう。なお、標準配合を使うか特注品を使うかは受注者の任意施工の範囲である。

JIS A 6204 表 3-化学混和剤の性能

項目	AE 剤	高性能 減水剤	硬化 促進剤	減水剤			AE 減水剤			高性能 AE 減水剤		流動化剤		
				標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	標準形	遅延形	
減水率	%	6 以上	12 以上	—	4 以上	4 以上	4 以上	10 以上	10 以上	8 以上	18 以上	18 以上	—	—
ブリーディング量の比	%	—	—	—	—	100 以下	—	70 以下	70 以下	70 以下	60 以下	70 以下	—	—
ブリーディング量の差	cm ³ /cm ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.10 以下	0.20 以下
凝結時間の 差 分	始発	-60~ +60	+90 以下	—	-60~ +90	+60~ +210	+30 以下	-60~ +90	+60~ +210	+30 以下	-60~ +90	+60~ +210	-60~ +90	+60~ +210
	終結	-60~ +60	+90 以下	—	-60~ +90	0~ +210	0 以下	-60~ +90	0~ +210	0 以下	-60~ +90	0~ +210	-60~ +90	0~ +210
圧縮強度比 %	材齢 1 日	—	—	120 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	材齢 2 日 (5℃)	—	—	130 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	材齢 7 日	95 以上	115 以上	—	110 以上	110 以上	115 以上	110 以上	110 以上	115 以上	125 以上	125 以上	90 以上	90 以上
	材齢 28 日	90 以上	110 以上	90 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	115 以上	115 以上	90 以上	90 以上
長さ変化比	%	120 以下	110 以下	130 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	110 以下	110 以下	120 以下	120 以下
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	—	—	—	—	—	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上
経時変化量	スランプ cm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0 以下	6.0 以下	4.0 以下	4.0 以下
	空気量 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	±1.5 以内	±1.5 以内	±1.0 以内	±1.0 以内

検査員 出来形及び出来ばえ 品質

基礎工事及び地盤改良工事

- ：ひび割れ防止及び耐久性向上のために、コンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：特別の養生とは、膜養生、ラップ養生、断熱性の高い型枠の使用など。

検査員 出来形及び出来ばえ 品質 海岸工事

- ：ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：コンクリートの表面乾燥を防止し、水和反応が十分に進むまで養生したことを評価する。

- ：施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：構造上の制約で落下高が高くなる場合は、漏斗管を使用したり、臨時の打設孔を設けなければならない。

- ：レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
- ：特注品とは標準配合以外のレディーミクストコンクリートを指す。収縮や発熱を抑える目的で、セメントの種類を替えたり、高性能の混和剤（JISA6204で規定する高性能AE減水剤など2019/3/8追加）を添加したものをいう。なお、標準配合を使うか特注品を使うかは受注者の任意施工の範囲である。

JIS A 6204 表 3-化学混和剤の性能

項目	AE 剤	高性能 減水剤	硬化 促進剤	減水剤			AE 減水剤			高性能 AE 減水剤		流動化剤			
				標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	標準形	遅延形		
減水率	%	6 以上	12 以上	—	4 以上	4 以上	4 以上	10 以上	10 以上	8 以上	18 以上	18 以上	—	—	
ブリーディング量の比	%	—	—	—	—	100 以下	—	70 以下	70 以下	70 以下	60 以下	70 以下	—	—	
ブリーディング量の差	cm ³ /cm ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.10 以下	0.20 以下	
凝結時間の 差	分	始発	-60~ +90	+90 以下	—	-60~ +90	+60~ +210	+30 以下	-60~ +90	+60~ +210	+30 以下	-60~ +90	+60~ +210	-60~ +90	+60~ +210
		終結	-60~ +60	+90 以下	—	-60~ +90	0~ +210	0 以下	-60~ +90	0~ +210	0 以下	-60~ +90	0~ +210	-60~ +90	0~ +210
圧縮強度比	%	材齢 1 日	—	—	120 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		材齢 2 日 (5℃)	—	—	130 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		材齢 7 日	95 以上	115 以上	—	110 以上	110 以上	115 以上	110 以上	110 以上	115 以上	125 以上	125 以上	90 以上	90 以上
		材齢 28 日	90 以上	110 以上	90 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	115 以上	115 以上	90 以上	90 以上
長さ変化比	%	120 以下	110 以下	130 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	110 以下	110 以下	120 以下	120 以下	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	—	—	—	—	—	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	
経時変化量	スランプ	cm	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0 以下	6.0 以下	4.0 以下	4.0 以下	
	空気量	%	—	—	—	—	—	—	—	—	±1.5 以内	±1.5 以内	±1.0 以内	±1.0 以内	

- ：レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。
- ：レディーミクストコンクリートの受入れ検査は受注者の責任である。監督職員はその結果をもって品質を確認する。
- ：自然石を利用して海岸環境の景観を改善している。
- ：創意工夫の No16（自主的に、特殊な工法や材料を用いて、工事目的物の品質の向上に効果があった）でも加点される。

検査員 出来形及び出来ばえ 品質

コンクリート橋上部工事（PC及びRCを対象）

- ：コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：配合計画書で確認する。加点となる具体例は次のとおり（2019/3/18 追加）。
 - (1) 複数の生コン工場の標準偏差 σ (2~3N) を比較して、 σ の少ない工場を選択した。
 - (2) 複数の生コン工場の配合を比較して、単位水量が少ない工場を選択した。
 - (3) 試験練りを実施して配合を決定した。

- ：レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。
- ：レディーミクストコンクリートの受入れ検査は受注者の責任である。監督職員はその結果をもって品質を確認する。
- ：レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
- ：特注品とは標準配合以外のレディーミクストコンクリートを指す。収縮や発熱を抑える目的で、セメントの種類を替えたり、高性能の混和剤（JIS A 6204 で規定する高性能 AE 減水剤など 2019/3/8 追加）を添加したものをいう。なお、標準配合を使うか特注品を使うかは受注者の任意施工の範囲である。

JIS A 6204 表 3-化学混和剤の性能

項目	AE 剤	高性能減水剤	硬化促進剤	減水剤			AE 減水剤			高性能 AE 減水剤		流動化剤		
				標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	標準形	遅延形	
減水率 %	6 以上	12 以上	—	4 以上	4 以上	4 以上	10 以上	10 以上	8 以上	18 以上	18 以上	—	—	
ブリーディング量の比 %	—	—	—	—	100 以下	—	70 以下	70 以下	70 以下	60 以下	70 以下	—	—	
ブリーディング量の差 cm^3/cm^2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.10 以下	0.20 以下	
凝結時間の差 分	始発	-60~+60	+90 以下	—	-60~+90	+60~+210	+30 以下	-60~+90	+60~+210	+30 以下	-60~+90	+60~+210	-60~+90	+60~+210
	終結	-60~+60	+90 以下	—	-60~+90	0~+210	0 以下	-60~+90	0~+210	0 以下	-60~+90	0~+210	-60~+90	0~+210
圧縮強度比 %	材齢 1 日	—	—	120 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	材齢 2 日 (5 °C)	—	—	130 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	材齢 7 日	95 以上	115 以上	—	110 以上	110 以上	115 以上	110 以上	110 以上	115 以上	125 以上	125 以上	90 以上	90 以上
	材齢 28 日	90 以上	110 以上	90 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	115 以上	115 以上	90 以上	90 以上
長さ変化比 %	120 以下	110 以下	130 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	110 以下	110 以下	120 以下	120 以下	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	—	—	—	—	—	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	
経時変化量	スランプ cm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0 以下	6.0 以下	4.0 以下	4.0 以下
	空気量 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	±1.5 以内	±1.5 以内	±1.0 以内	±1.0 以内

- ：施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が 1m 以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：構造上の制約で落下高が高くなる場合は、漏斗管を使用したり、臨時の打設孔を設けなければならない。
- ：ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：コンクリートの表面乾燥を防止し、水和反応が十分に進むまで養生したことを評価する。

- ：断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、先行打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：本項目の記録とは、打設作業の時刻が写し込まれた写真などが該当する(2019/3/8 追加)。

- ：コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。
- ：土木工事現場監督要領（H16.3.31）により、PC ポストテンション橋の場合は、有害物が付着していないことを監督職員が立ち合って確認しなければならない。その他の構造物については同要領の定めによる。

- ：ひび割れ防止及び耐久性向上のために、コンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：特別の養生とは、膜養生、ラップ養生、断熱性の高い型枠の使用など。

検査員 出来形及び出来ばえ 品質 機械設備工事

- ：機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
- ：品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」であり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより評価を行う。(以下同じ)

- ：施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。
- ：各種測定値等が現場条件を勘案して優れた結果であること。

- ：システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。
- ：機器の連動、警報の発報等について総合的に自主検査を行い、記録が整備されていること。

- ：システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。
- ：設計図書を満足していることを確認するために、要点を整理して確認作業を行っていること。

- ：中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
- ：施工中の各種段階検査が計画的に行われ、結果が良好であること。

検査員 出来形及び出来ばえ 品質 電気設備工事

- ：機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
 - ：品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」であり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより評価を行う。(以下同じ)
-
- ：施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。
 - ：各種測定値等が現場条件を勘案して優れた結果であること。
-
- ：システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。
 - ：機器の連動、警報の発報等について総合的に自主検査を行い、記録が整備されていること。
-
- ：システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。
 - ：設計図書を満足していることを確認するために、要点を整理して確認作業を行っていること。
-
- ：中間検査や既済検査でのチェックリストの工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
 - ：施工中の各種段階検査が計画的に行われ、結果が良好であること。

検査員 出来形及び出来ばえ 品質

通信設備工事・受変電設備工事

- ：機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
 - ：品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」であり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより評価を行う。（以下同じ）
-
- ：施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。
 - ：各種測定値等が現場条件を勘案して優れた結果であること。
-
- ：システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。
 - ：機器の連動、警報の発報等について総合的に自主検査を行い、記録が整備されていること。
-
- ：システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。
 - ：設計図書を満足していることを確認するために、要点を整理して確認作業を行っていること。
-
- ：中間検査や既済検査でのチェックリストの工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
 - ：施工中の各種段階検査が計画的に行われ、結果が良好であること。

検査員 出来形及び出来ばえ 品質 管水路工事

- ：コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：配合計画書で確認する。加点となる具体例は次のとおり（2019/3/18 追加）。
 - (1) 複数の生コン工場の標準偏差 σ （2～3N）を比較して、 σ の少ない工場を選じた。
 - (2) 複数の生コン工場の配合を比較して、単位水量が少ない工場を選択した。
 - (3) 試験練りを実施して配合を決定した。
- ：レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
- ：特注品とは標準配合以外のレディーミクストコンクリートを指す。収縮や発熱を抑える目的で、セメントの種類を替えたり、高性能の混和剤（JIS A 6204 で規定する高性能 AE 減水剤など 2019/3/8 追加）を添加したものをいう。なお、標準配合を使うか特注品を使うかは受注者の任意施工の範囲である。

JIS A 6204 表 3-化学混和剤の性能

項目	AE 剤	高性能減水剤	硬化促進剤	減水剤			AE 減水剤			高性能 AE 減水剤		流動化剤		
				標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	標準形	遅延形	
減水率 %	6 以上	12 以上	—	4 以上	4 以上	4 以上	10 以上	10 以上	8 以上	18 以上	18 以上	—	—	
ブリーディング量の比 %	—	—	—	—	100 以下	—	70 以下	70 以下	70 以下	60 以下	70 以下	—	—	
ブリーディング量の差 cm^3/cm^2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.10 以下	0.20 以下	
凝結時間の差 分	始発	-60～+60	+90 以下	—	-60～+90	+60～+210	+30 以下	-60～+90	+60～+210	+30 以下	-60～+90	+60～+210	-60～+90	+60～+210
	終結	-60～+60	+90 以下	—	-60～+90	0～+210	0 以下	-60～+90	0～+210	0 以下	-60～+90	0～+210	-60～+90	0～+210
圧縮強度比 %	材齢 1 日	—	—	120 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	材齢 2 日 (5℃)	—	—	130 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	材齢 7 日	95 以上	115 以上	—	110 以上	110 以上	115 以上	110 以上	110 以上	115 以上	125 以上	125 以上	90 以上	90 以上
材齢 28 日	90 以上	110 以上	90 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	115 以上	115 以上	90 以上	90 以上	
長さ変化比 %	120 以下	110 以下	130 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	110 以下	110 以下	120 以下	120 以下	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	—	—	—	—	—	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	
経時変化量	スランプ cm	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0 以下	6.0 以下	4.0 以下	4.0 以下	
	空気量 %	—	—	—	—	—	—	—	—	±1.5 以内	±1.5 以内	±1.0 以内	±1.0 以内	

- ：断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、先行打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：本項目の記録とは、打設作業の時刻が写し込まれた写真などが該当する（2019/3/8 追加）。

検査員 出来形及び出来ばえ 品質

農道工事（舗装工事以外）

- ：コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：配合計画書で確認する。加点となる具体例は次のとおり（2019/3/18 追加）。
 - (1) 複数の生コン工場の標準偏差 σ （2～3N）を比較して、 σ の少ない工場を選択した。
 - (2) 複数の生コン工場の配合を比較して、単位水量が少ない工場を選択した。
 - (3) 試験練りを実施して配合を決定した。
- ：レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
- ：特注品とは標準配合以外のレディーミクストコンクリートを指す。収縮や発熱を抑える目的で、セメントの種類を替えたり、高性能の混和剤（JIS A 6204 で規定する高性能 AE 減水剤など 2019/3/8 追加）を添加したものをいう。なお、標準配合を使うか特注品を使うかは受注者の任意施工の範囲である。

JIS A 6204 表 3-化学混和剤の性能

項目	AE 剤	高性能減水剤	硬化促進剤	減水剤			AE 減水剤			高性能 AE 減水剤		流動化剤		
				標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	標準形	遅延形	
減水率	%	6 以上	12 以上	—	4 以上	4 以上	4 以上	10 以上	10 以上	8 以上	18 以上	18 以上	—	—
ブリーディング量の比	%	—	—	—	—	100 以下	—	70 以下	70 以下	70 以下	60 以下	70 以下	—	—
ブリーディング量の差	cm ³ /cm ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.10 以下	0.20 以下
凝結時間の差	始発	-60～+60	+90 以下	—	-60～+90	+60～+210	+30 以下	-60～+90	+60～+210	+30 以下	-60～+90	+60～+210	-60～+90	+60～+210
	終結	-60～+60	+90 以下	—	-60～+90	0～+210	0 以下	-60～+90	0～+210	0 以下	-60～+90	0～+210	-60～+90	0～+210
圧縮強度比	材齢 1 日	—	—	120 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	材齢 2 日 (5℃)	—	—	130 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	材齢 7 日	95 以上	115 以上	—	110 以上	110 以上	115 以上	110 以上	110 以上	115 以上	125 以上	125 以上	90 以上	90 以上
	材齢 28 日	90 以上	110 以上	90 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	115 以上	115 以上	90 以上	90 以上
長さ変化比	%	120 以下	110 以下	130 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	110 以下	110 以下	120 以下	120 以下
凍結融解に対する抵抗性 (相対動塑性係数)	%	60 以上	—	—	—	—	—	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上
経時変化量	スランプ	cm	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0 以下	6.0 以下	4.0 以下	4.0 以下
	空気量	%	—	—	—	—	—	—	—	—	±1.5 以内	±1.5 以内	±1.0 以内	±1.0 以内

- ：ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：コンクリートの表面乾燥を防止し、水和反応が十分に進むまで養生したことを評価する。

- ：断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、先行打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：本項目の記録とは、打設作業の時刻が写し込まれた写真などが該当する(2019/3/8 追加)。
- ：ひび割れ防止及び耐久性向上のために、コンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。
- ：特別の養生とは、膜養生、ラップ養生、断熱性の高い型枠の使用など。

検査員 出来形及び出来ばえ 出来ばえ

基礎工事(地盤改良等を含む)

- ：不可視部分の全部の写真及び主要な部分の出来形の記録が保存されている。
- ：不可視部分は全域を撮影しなければならない。動画でもよい。

検査員 出来形及び出来ばえ 出来ばえ 機械設備工事

- ：端部や貫通部分の処理等について、きめ細やかな施工がなされている。
- ：出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により評価を行う。(以下同じ)
- ：関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。
- ：外構のすりつけ、色彩計画等について関係者と協議し、問題が無いこと。
- ：機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。
- ：試験成績書、総合試運転結果等により、目的物としての機能が良好であることが確認出来ること。

検査員 出来形及び出来ばえ 出来ばえ 電気設備工事

- ：配線や貫通部分の処理等について、きめ細やかな施工がなされている。
- ：出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により評価を行う。(以下同じ)

- ：関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。
- ：外構のすりつけ、色彩計画等について関係者と協議し、問題が無いこと。

- ：機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。
- ：試験成績書、総合試運転結果等により、目的物としての機能が良好であることが確認出来ること。

検査員 出来形及び出来ばえ 出来ばえ

通信設備工事、受変電設備工事

- ：配線や貫通部分の処理等について、きめ細やかな施工がなされている。
- ：出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により評価を行う。(以下同じ)

- ：関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。
- ：外構のすりつけ、色彩計画等について関係者と協議し、問題が無いこと。

- ：機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。
- ：試験成績書、総合試運転結果等により、目的物としての機能が良好であることが確認出来ること。

検査員 創意工夫

- ：支保工、型枠工、足場工、仮架橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫を行って、工事目的物の品質の向上に効果があった。
- ：セパレーターのかぶりを確保するために、いわゆる「ロングPコン」などを使用した場合は該当する（2019/3/18 追加）。

- ：自主的に、特殊な工法や材料を用いて、工事目的物の品質の向上に効果があった。
- ：景観に配慮すべき部分に自然石を使用した場合は該当する。

- ：現在の法令の基準を上回る安全対策を実施した。（法律で義務化される前に取り入れた安全対策や任意の安全対策ほか）
- ：法律で義務化される前の取組みを評価する。

- ：熱中症防止のために効果のある装置を設置し、又は機材を作業員に支給した。
- ：本県特有の作業環境に配慮して、労働災害防止の観点から評価する。ミスト発生機、スポットクーラー、クールジャケットほか。

本資料は、鹿児島県が公表した考え方に準拠しており、さらに分かりやすく参考文献の抜粋を記載しています。

初 版 平成31年 4月

第二版 令和 4年 4月